壇の岡

９月１３日（金）　第６１号
発行責任者
鮫川中学校長　角田敏文

～「修学旅行」道中記～

修学旅行中の三日間は、大きなトラブルもなく順調に過ごすことができました。

一日目は、天候に恵まれ早朝にもかわらず、子ども達のテンションは既にマックスで、飛行機が離陸すると歓声が沸き上がりました。大阪伊丹空港では、荷物受取をスムーズに行い、バスで東大寺に向かいました。晴天で気温はすでに31度に達し、早朝の出発にも関わらず誰も寝ることもなく、全ての風景に興奮しながら全員が楽しくバスで移動することができました。東大寺に近づくにつれ、バスガイドの関西弁に圧倒されながら説明に耳を傾け、話を聞く姿は大変立派でした。外国人や鹿の姿など初めて見た風景に感激しながら、予定よりも早く見学を開始する事が出来ました。南大門の前では、食欲旺盛なガイドさんに圧倒されていました。鹿さんの粋な計らいで、普段は集合写真の撮影ができない南大門前で集合写真を撮ることができました。気温はすでに34度に達しています。国宝南大門・金剛力士立像・大仏殿・八角燈籠・大仏・二月堂・法華堂等とガイドの解説に耳を傾け聞く姿は大変立派でした。

無病息災・祈願成就とも言われている柱の穴くぐり（大仏の鼻の穴の大きさと同じと言われている）を、ほぼ全員がチャレンジし、周りにいた多くの外国人から歓声が沸き上がりました。

バスで薬師寺に向かう道中は一転どしゃ降りでした。薬師寺では、国宝級に面白く温かみのあるありがたい法話（お坊さんのお話し）を拝聴しました。30分の法話は、いわゆる「つかみ」で5分「薬師寺や仏教の話」で10分、そして、「生徒の心に迫る話」で15分という生徒の表情は、話に吸い込まれる時間となったようです。その後、自分の生き方について真剣に考えることが出来ました。

二日目は、時間たっぷりの朝食バイキングを楽しんだあと、班別研修開始。迷いながらもその都度修正し、全ての班が予定時間より早くホテルに戻ることができました。また、マナーやルールそして定時連絡も確実に守ることができました。子どもたちの気分と同様に気温も36度まで上昇しました。夕食・シティウォーク散策を終了し、笑顔で予定時間より早く、ホテルに戻ることができました。窓からの夜景等を眺める余裕もなく、ぐっすりと寝たようです。また、他の宿泊客に迷惑をかけることもなく、礼儀正しく行動することが出来ました。

三日目は、朝食バイキングにも慣れ何度も何度もおかわりをしながら楽しんだあと、予定時間より早くUSJ到着。写真撮影後、竹山先生の説明に盛り上がり、勢いよく入場していきました。気温34度。園内では、実行委員が決めたルールを確実に守り、友人を気遣いながら決められた班で夢の国を満喫していました。集合場所では、夢の国と現実をしっかり区別する事ができました。伊丹空港へのバスの中では、充実した顔で多くの生徒が熟睡していました。突然の雷雨で離陸が遅れ、飛行機内で一時間近く待機したことも忘れられない思い出になったと思います。

修学旅行に向けて、実行委員は企画運営、教師との話し合い、さらに、旅行中の学級への連絡・注意・反省など素晴らしい活躍でした。また、実行委員の決定事項や旅行中の改善点を他の生徒が確実に厳守しようとしたことが、自分たちで作り上げた素晴らしい修学旅行につながったのだと思います。

修学旅行を無事に終え、ずっと心に残る思い出が増えたのなら、幸いです。

教育目標

学ぶ心
よく学び自己を高める生徒

美しい心
心豊かで思いやりがある生徒

強い心
心身を鍛えたくましい生徒

成長した子どもたち

１・２年「学習旅行」３年「修学旅行」。普段と違う場所・環境で、**当たり前のことを当たり前に、実践**することができ、さらに**友人に対する気遣い**ができた生徒たちをうれしく、誇らしく思います。お子さんから活動の様子をきいてください。

こちらから各学年だより等がスマートフォンからもご覧できます。

週の行事予定

16	17	18	19	20
月	火	水	木	金
敬老の日		給食なし・午前授業		**3年実力テスト**専門委員会 東白川特別支援交流会